

# 1 概 況

平成29年平均佐賀市消費者物価指数は、平成27年を100とした総合指数で100.6となり、前年に比べ(+) $0.4\%$ の上昇となった。

なお、総合指数は、平成19年は下落、平成20年は上昇したものの、平成21年から平成24年は下落、平成25年から再び上昇となった。

- (1) この1年間における総合指数の動きを月別に前年同月比で見ると、1月は野菜・海藻、自動車等関係費などの値上がりにより(+) $0.5\%$ の上昇、2月は自動車等関係費、家庭用耐久財などの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇、3月は自動車等関係費、教養娯楽サービスなどの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇、4月は自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+) $0.5\%$ の上昇、5月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) $0.4\%$ の上昇、6月は魚介類、自動車等関係費などの値上がりにより(+) $0.5\%$ の上昇、7月は電気代、自動車等関係費などの値上がりにより(+) $0.3\%$ の上昇、8月は電気代、自動車等関係費などの値上がりにより(+) $0.4\%$ の上昇、9月は電気代、自動車等関係費などの値上がりにより(+) $0.4\%$ の上昇、10月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇、11月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇、12月は自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) $0.9\%$ の上昇となった。
- (2) 10大費目指数の動きを前年比で見ると、「食料」は魚介類、酒類などの値上がりにより(+) $0.1\%$ 、「住居」は設備修繕・維持の値上がりにより(+) $0.2\%$ 、「光熱・水道」は電気代、他の光熱の値上がりにより(+) $2.3\%$ 、「家具・家事用品」は家庭用耐久財、寝具類などの値下がりにより(-) $1.4\%$ 、「被服及び履物」は履物類、下着類などの値上がりにより(+) $0.2\%$ 、「保健医療」は保健医療サービス、保健医療用品・器具の値上がりにより(+) $1.0\%$ 、「交通・通信」は自動車等関係費の値上がりにより(+) $0.3\%$ 、「教育」は補習教育、授業料などの値上がりにより(+) $1.9\%$ 、「教養娯楽」は教養娯楽サービス、教養娯楽用品などの値上がりにより(+) $0.4\%$ 、「諸雑費」は他の諸雑費、たばこなどの値上がりにより(+) $0.3\%$ となった。
- (3) 近年の総合指数の動き(前年比)

平成22年	交通・通信、諸雑費(たばこ)の値上がりはあったものの、高校授業料の無償化などの影響や、調理食品などの値下がりにより(-) $0.8\%$ の下落。
平成23年	自動車等関係費(ガソリン)、たばこなどの値上がりはあったものの、教養娯楽用耐久財、家賃などの値下がりにより(-) $0.7\%$ の下落。
平成24年	調理食品、電気代、自動車等関係費などの値上がりはあったものの、家賃、教養娯楽用耐久財などの値下がりにより(-) $0.1\%$ の下落。
平成25年	家賃、肉類などの値下がりがあったものの、自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇。
平成26年	果物などの値下がりがあったものの、魚介類、電気代などの値上がりにより(+) $2.5\%$ の上昇。
平成27年	他の光熱、自動車等関係費などの値下がりがあったものの、履物類、果物などの値上がりにより(+) $0.9\%$ の上昇。
平成28年	自動車等関係費、電気代などの値下がりがあったものの、設備修繕・維持、野菜・海藻などの値上がりにより(+) $0.2\%$ の上昇。
平成29年	通信、野菜・海藻などの値下がりがあったものの、自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) $0.4\%$ の上昇。